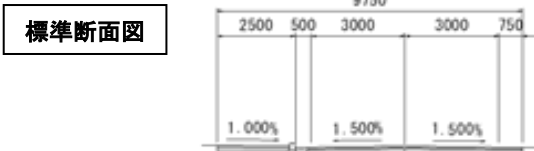


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担 当 課：県央振興局道路第一課
担当課長名：荒木 健児

事業名		一般国道田結久山線（飯盛里工区）		事業区分	一般県道	事業主体	長崎県
起終点		ながさきけんいさはやししいもちょうさと　ながさきけんいさはやししいもちょうこ　ば 白：長崎県諫早市飯盛町里　至：長崎県諫早市飯盛町古場				延長	2. 0 0km
事業概要　一般県道田結久山線は、中核工業団地等が隣接しており、大型車の通行が多い。また、道路も急カーブで狭く、歩道もないため、当区間の整備を行うことで、円滑な交通の確保及び産業団地等への利便性向上による地域産業の活性化を目的としている。							
R2年度事業化		都市計画決定　なし					
全体事業費		3 4. 0 億		事業進捗率		7. 1 %　供用済延長　0. 0 km	
計画交通量		5, 7 9 6 台／日　（R 2 2）					
費用対効果分析結果		B／C （事業全体）　1. 1 4 （残事業）　1. 2 5	総費用 （残事業）／（事業全体） 27. 00/29. 65億円 〔 事 業 費：26. 62/29. 27億円 維持管理費：0. 38/ 0. 38億円〕	総便益 （残事業）／（事業全体） 33. 85/33. 85億円 〔 走行時間短縮便益：31. 69/31. 69億円 走行費用減少便益： 2. 07/2. 07億円 交通事故減少便益： 0. 09/0. 09億円〕		基準年 令和 6 年	
感度分析の結果		残事業について感度分析を実施					
【全体事業】		交通量変動　：B/C=1. 03～1. 26（交通量　±10%） 事業費変動　：B/C=1. 05～1. 25（事業費　±10%） 事業期間変動：B/C=1. 09～1. 19（事業期間±1年）		【残事業】		B/C=1. 13～1. 38（交通量　±10%） B/C=1. 15～1. 38（事業費　±10%） B/C=1. 20～1. 31（事業期間±1年）	
事業の効果等		・ 走行安全性の向上（線形改良、歩道設置による走行性向上） ・ 地域産業の活性化（道路拡幅等による円滑な交通の確保）					
関係する地方公共団体等の意見		諫早市より整備促進の要望が行われている。					
事業再評価監視委員会の意見		—					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等		諫早市の中核工業団地において、ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)の大型投資により、工場の規模拡張が実施されている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等		令和5年度末までの事業進捗率は7. 1%、用地未着手となっているが、今後、用地取得及び工事に着手して令和14年度の事業完成を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等		地元から計画変更の要望に時間を要したが、令和5年度に意見交換会を実施し、地元の同意を得ている状況。今後、用地取得及び工事に着手し、令和14年度の事業完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等		・ 歩道及び工事の追加					
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由		事業の必要性を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。					
事業概要図		 標準断面図  					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

令和6年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建－5 道路改築事業
一般県道田結久山線
(飯盛里工区)

事業主体 長崎県

再評価
の理由 事業採択後5年経過
(事業費・工期)

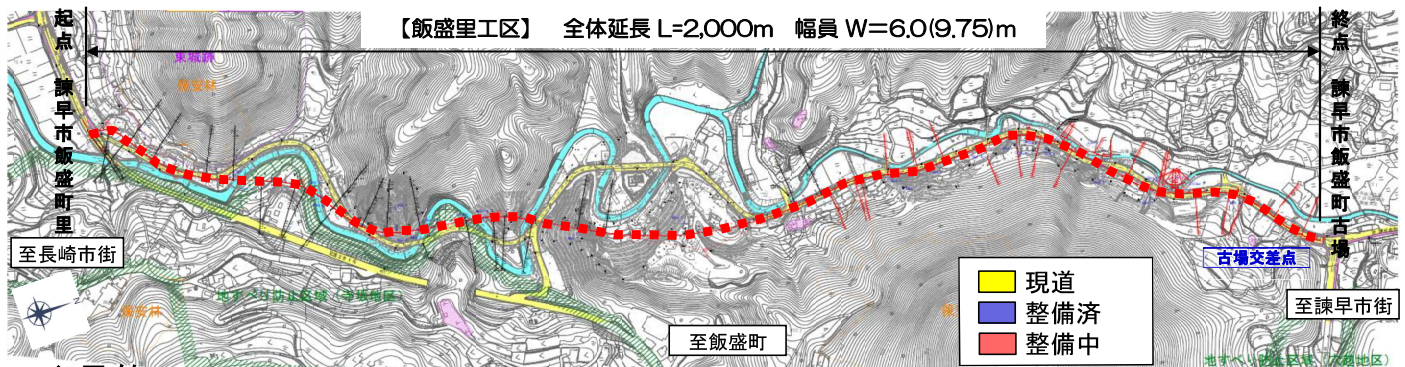


1

1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	備考
		着工	完了			
当初 (R2新規)	－	R2	R9	16.0	1.62	【工事概要】 延長2.00km 幅員6.0(9.75)m
第1回審議 (R6年度)	事業採択後 5年経過	R2	R14	34.0	1.14	【当初評価からの変更概要】 ・岩盤掘削及び法面对策による増額 ・歩道設置による増額 計画変更による工期延長

2. 目的・事業概要・これまでの経緯



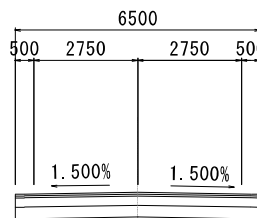
◆目的

一般県田結久山線「飯盛里工区」は、中核工業団地等が隣接しており、大型車の通行が多い。また、道路も急カーブで狭く、歩道もないため、当区間の整備を行うことで、円滑な交通の確保及び産業団地等への利便性向上による地域産業の活性化を目的としている。

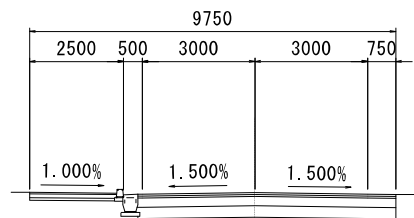
◆事業概要

全体延長	L=2.00km
幅員	W=6.0(9.75)m
計画交通量(R22)	5,796台/日

◆現況断面図



◆計画断面図



◆事業経過

令和2年度	事業化
令和5年度	意見交換会

【令和6年3月末現在】
・事業進捗率 7%
(事業費ベース)
・用地進捗率 0%

3. 事業の効果・必要性

【整備目的】

- 道路拡幅による走行安全性の確保
- 中核工業団地、久山港、西諫早産業団地及び諫早流通産業団地へのアクセス強化

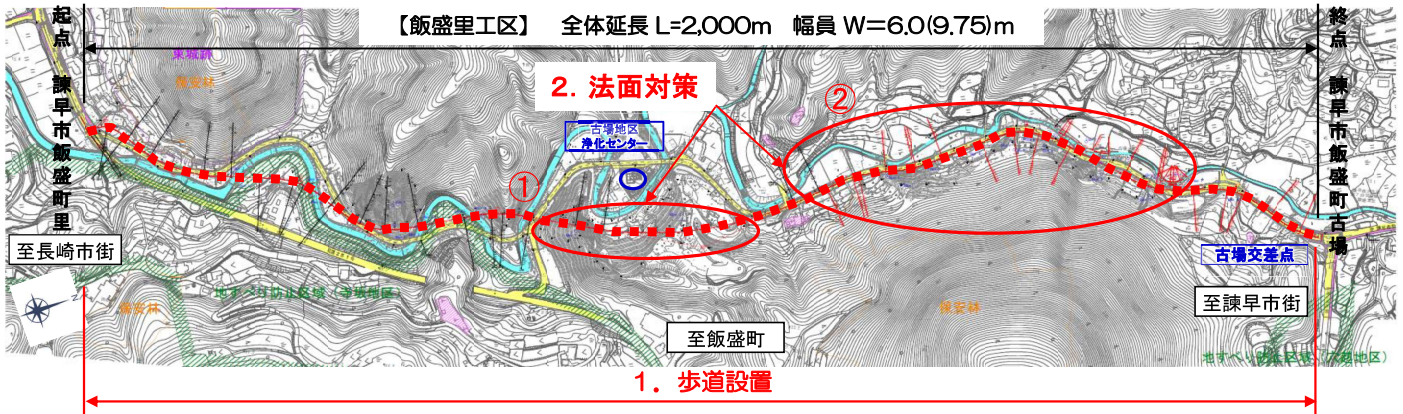
【田結久山線整備の確保による効果】

- ①安全で円滑な交通が図られる。
- ②産業団地等への利便性向上及び地域産業の活性化が図られる。



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

1/4



【事業費増】

16.0億円(前回)
⇒ 34.0億円(今回)

事業費増の内容		増額
1	歩道設置による増額	約7.0億円
2	岩盤掘削及び法面对策による増額	約4.0億円
3	その他(労務・資機材単価等の単価上昇に伴う増額)	約7.0億円
計		約18.0億円

5

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

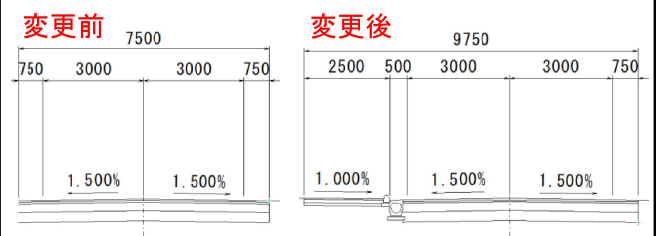
2/4

1. 歩道設置による増額



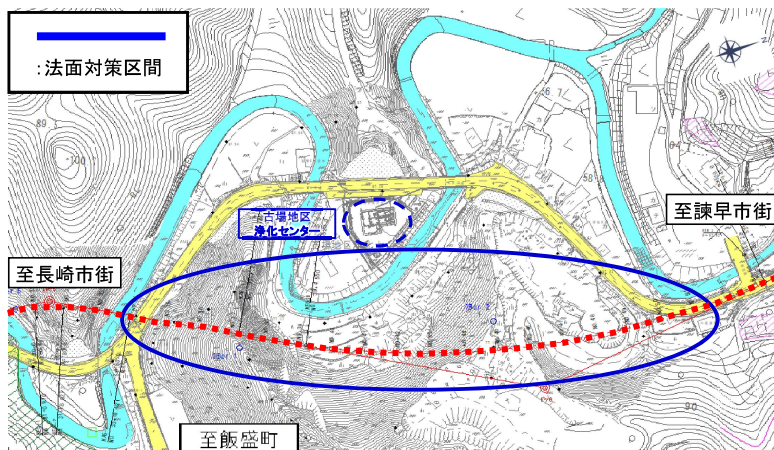
・現在は、学校指定の通学路ではなく、バス通学を行っている。そのため、地元からの強い要望があり、近隣の小学校等との調整により整備後は、学校指定の通学路とする回答があったことから、歩道を追加。(約7.0億円)

標準断面図

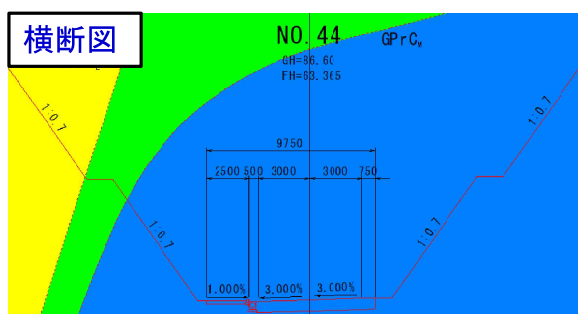
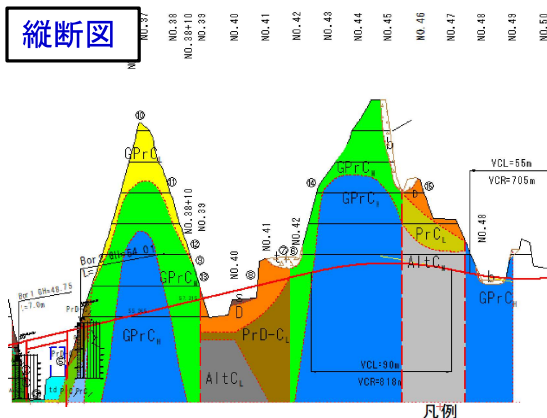


6

2. 岩盤掘削による増額

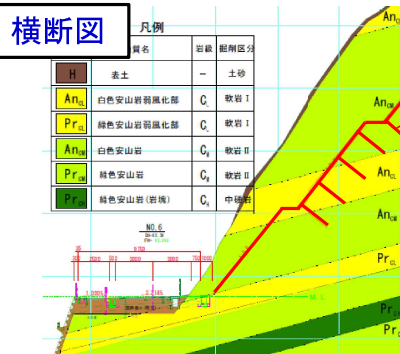
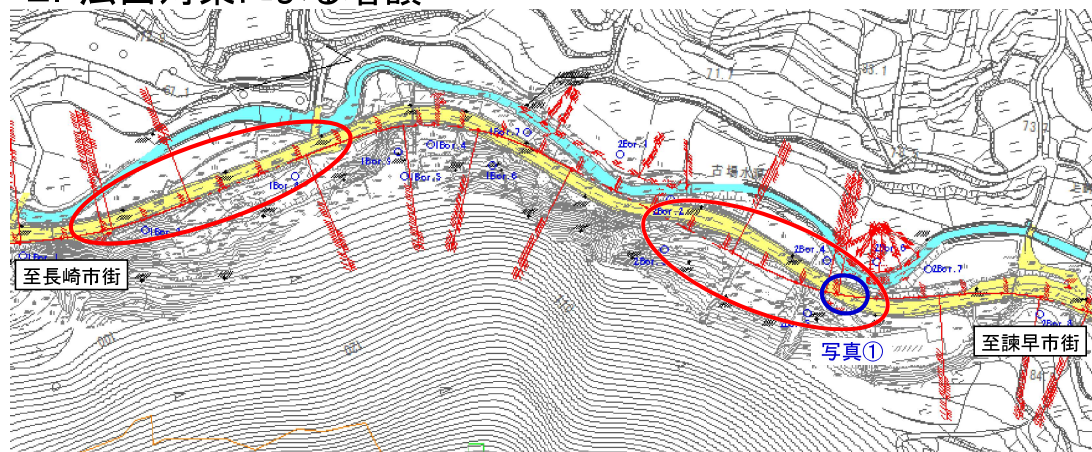


・当初軟岩を想定していたが、地質調査の結果、中硬岩であったことから、掘削費用の増加。(約2.0億円)



火山	詳細	記号	地質名	掘削区分
土砂			表土	土砂
			腐土	土砂
			腐植土	土砂
			粘土堆積物(推定)	土砂
軟岩Ⅰ			実質安山岩強風化部	軟岩Ⅰ
			GPrD-C ₁ 弱～強風化部	軟岩Ⅰ
			GPrC ₁ 弱風化部	軟岩Ⅰ
			GPrC ₂ 新鮮	軟岩Ⅱ
軟岩Ⅱ			GPrC ₃ 新鮮	軟岩Ⅱ
			AltC ₁ 強実質岩	軟岩Ⅱ
			AltC ₂ 弱実質岩	軟岩Ⅱ
			PrD-C ₁ 弱～強風化部	土砂
土砂			PrC ₁ 弱風化部	軟岩Ⅰ
			PrC ₂ 新鮮	軟岩Ⅱ
			PrC ₃ 新鮮	軟岩Ⅱ
			PrC ₄ 新鮮	軟岩Ⅱ

2. 法面对策による増額

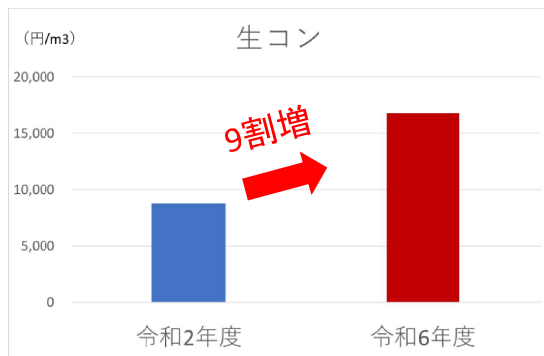
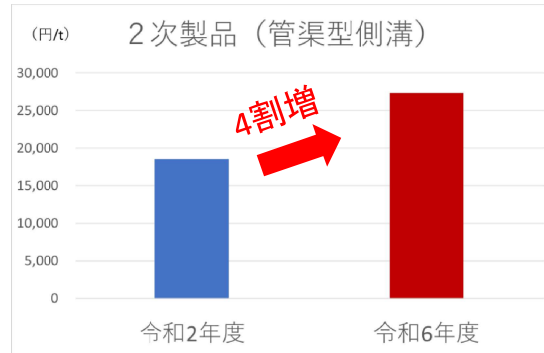
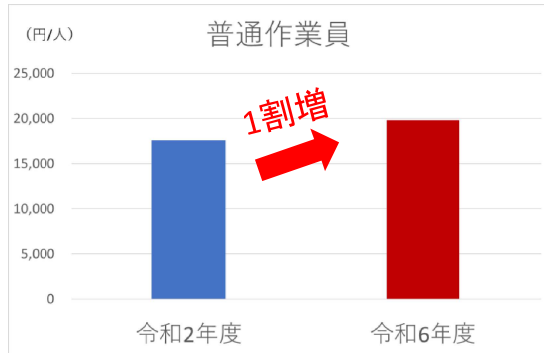


鉄筋挿入工

・地質調査の結果、風化岩が道路側へ傾斜しており、崩壊のおそれがあるため、法面对策工を追加。(約2.0億円)

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

事業費増の内容	増額	主な増額理由
③ その他	約7.0億円	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など(R2⇒R6増額分)



その他、労務費などの増額分を計上する。

9

4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R9(前回)→R14(今回)

- ・計画変更(歩道設置)による事業期間の延長。
- ・工事追加による事業期間の延長。

◆工程(前回)

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
地元調整	2年								
測量・地質調査	3年								
道路・橋梁設計	3年								
用地補償交渉	3年								
工事	5年								

(今回)

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
地元調整	4年													
測量・地質調査	5年													
道路・橋梁設計	5年													
用地補償交渉	3年													
工事	8年													

5. 社会経済情勢等の変化

- ◆諫早市の中核工業団地において、ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)が、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)長崎テクノロジーセンターの工場に令和2年度より大型投資を進めており、令和5年10月に最終拡張部分の工事を完了させ稼働している。拡張に伴い、さらなる交通量の増加が見込まれる。



長崎テクノロジーセンター外観(赤枠の建物が最終拡張部分)

	STEP1	最終拡張部分
稼働開始時期	2021年4月	2023年10月
延床面積	約48,300m ²	約53,000m ²
クリーンルーム面積	10,000m ² (5,000m ² × 2層)	約13,800m ² (約6,900m ² × 2層)

11

6. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和2年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	—	1.25 = 33.85億円 / 27.00億円
全事業	1.62 = 21.52億円 / 13.28億円	1.14 = 33.85億円 / 29.65億円

〔費用〕

- ・道路整備に要する事業費(工事費、用地費)、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益

〔プラス要因〕

- ・費用便益分析マニュアルの改訂
→原単位(価格)の増加

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増
- ・事業期間の延長

12

7. 対応方針(原案)

- ◆ 県道田結久山線は、飯盛地区と諫早市中心部を結ぶ幹線道路であり、本事業を行うことにより、安全で円滑な交通の確保及び産業団地等への利便性向上、地域産業への活性化を図る事業である。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで7%[2.4億円/34.0億円]であり、用地進捗率は0%となっている。(令和6年3月末現在)
- ◆ 諫早市から整備促進を要望されている。
- ◆ 事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

